

県民へのクマに対する注意喚起について

秋を迎え、行楽やキノコ採りなどで山に行く方も増えてますが、この時期はクマが冬眠に向け、餌を求めて活発に動き回るため、人とクマが出合う危険性が高くなります。

また、今年はブナの実りが凶作の見込みとなっており、今後もクマの出没が多くなることが予想されます。

県内では、9月から11月に人身被害が多く発生しており、過去には、キノコ採りや溪流釣りで山に訪れてクマと遭遇し、大怪我を負う人身被害が発生し、また、自宅敷地内でも人身被害が発生しています。

人身被害の防止に向け、下記を参考に、県民への注意喚起に御協力をお願いいたします。

記

○ 音の出る物で、クマに自分の存在を知らせましょう。

クマもエサに夢中になって、人の接近に気がつかない場合があります。山林周辺やクマの出没情報があった場所では、ラジオやクマ避けの鈴、笛など、音の出る物で、自分の存在をクマに知らせましょう。

○ クマの出没情報があったところには近づかないでください。

県ホームページ「山形県クマに関する情報」－「クマ目撃マップ」に出没情報を掲載しています。（[山形クマ](#)で検索）その周辺に近づかないようお願いします。

○ 子連れの子グマに注意してください。

子グマを見たら、近くに母グマがいると思ってください。大変危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

○ 万一、クマに出会ったら、落ち着いてゆっくりとその場から離れてください。

○ 餌となる取り残しの果実や家の周囲のハチの巣を除去してください。

また、餌付けとなる食品や生ゴミを放置しないでください。

○ クマの移動経路となる河川敷などのやぶの刈払いを行ってください。



(担当)

環境エネルギー部みどり自然課
課長補佐(野生生物対策担当) 鈴木

TEL: 023-630-3042

[報道監]

環境エネルギー部次長 荒木